



発想光る「きつねのお守り」

豊川の松屋 目を引く鮮やかな水引

国府高とコラボ 来月28日に発売

豊川市門前町の飲食店「松屋」は、県立国府高校とコラボして、新商品「きつねのお守り」を開発した。水引を使った色鮮やかな一品で、1月28日に発売する。

松屋と同校のコラボは3年目。おかみの久保田久子さんが、友人で水引作家の倫貴さんと何度も学校を訪れ、3年生の入佐美聡さん、福村ひなたさん、竹内里咲さんと一緒に開発した。

店が豊川稲荷の門前に開発に携わった福村さん、竹内さん、入佐さん(左から)＝国府高校で

あることから、神様と縁を感じることでできる土産物とした。生徒が商品名や水引の色、添えるメッセージなどを考えた。中でも水引の色にこだわり、黄と白の組み合わせは「新しい世界へ飛び出す後押し」、紫と白は「自身の魅力を高めてとぎれない縁に恵まれる」、赤と白は「勝負に勝負」の意味を込めたという。

入佐さんは「一つの商品が完成するまで、これだけ時間がかかるとは思わなかった」と述べた。福村さんは「商売をするための考え方が分かった」と話した。



きつねのお守り

久保田さんは「若者の発想で生まれた素晴らしい商品です。多くの人に買っていただきたい」とPRした。1870円(税込み)。問い合わせは松屋(0533・86・2825)へ。

【竹下貴信】

た」と話した。竹内さんは「普段の生活では経験できない商品開発の一端を知ることができた」と振り返った。